

第4回放射線災害・医科学研究拠点カンファランス

日時: 2019年6月1日(土) 13:00-17:40

場所: 広島大学臨床管理棟3階 大会議室(霞キャンパス)

【プログラム】

受付 12:30-13:00

開会の辞 広島大学原爆放射線医科学研究所 田代 聡 13:00-13:05

分類1 低線量被ばく影響とリスク研究

座長: 孫 継英 (広島大学原爆放射線医科学研究所血液・細胞修復制御研究分野)

- (1) ATMとATRによるARP8のリン酸化が11q23染色体転座の形成を抑制する 13:05-13:17
孫継英、時林、堀越保則、田代聡
広島大・原医研・細胞修復制御
 - (2) CRISPR/Cas9を用いた染色体転座t(11;14)誘導系の作製と染色体異常解析への応用 13:17-13:29
津山尚宏
広島県立医科大・医学部・放射線生命科学講座
 - (3) スプライシング因子のDNA二本鎖切断修復における役割 13:29-13:41
山内基弘¹、平川美弥子²、柴田淳史³、安原崇哲⁴、加藤玲於奈⁴、宮川清⁴、松田尚樹¹
¹長崎大・原研・放射線生物・防護学、²長崎大・先端生命科学研究支援センター・アイソトープ実験施設、³群馬大・未来先端研究機構、⁴東京大・大学院・医学研究科
 - (4) *Apc*^{Min/+}マウスを用いた低線量・低線量率放射線被曝における発がんリスク評価 13:41-13:53
笹谷めぐみ、神谷研二
広島大・原医研・分子発がん制御
 - (5) 低線量率放射線被ばくによる造血幹細胞活性の低下 13:53-14:05
大野芳典¹、竹立恭子¹、郭芸²、菅野雅元²、白須直人³、安永晋一郎³、大坪素秋⁴、松浦伸也⁵、瀧原義宏^{1,6}
¹広島大・原医研・幹細胞機能学、²広島大・医歯薬保健学研究院・免疫学、³福岡大・医学部・生化学、⁴別府大・食物栄養科学部・発酵食品学科、⁵広島大・原医研・放射線ゲノム疾患、⁶日赤・大阪府赤十字血液センター
 - (6) 小動物イメージングによる生体機能評価 14:05-14:17
西弘大、工藤崇
長崎大・原研・アイソトープ診断治療学研究分野
- 休憩 14:17-14:27

分類2 放射線障害医療

座長: 李桃生 (長崎大学 原爆後障害医療研究所 幹細胞生物学研究分野)

- (7) 放射線治療副作用軽減とがん転移抑制を両立する薬剤の開発 14:27-14:39
李桃生
長崎大・原研・幹細胞生物学研究分野
- (8) 放射線誘発 MDS 抑制遺伝子 *Samd9/L* の機能解析 14:39-14:51
稲葉俊哉¹、金井昭教¹、長町安希子¹、神力悟²、松井啓隆²
¹広島大・原医研・がん分子病態、²熊本大・大学院・生命科学研究部・臨床病態解析学
- (9) 原爆被爆者に発症した骨髄異形成症候群のゲノム変異 14:51-15:03
宮崎泰司¹、田口正剛¹、蓬萊真喜子¹、佐藤信也¹、波多智子¹、岩永正子²、小川誠司³、
吉浦孝一郎⁴
¹長崎大・原研・放射線災害医療学、²長崎大・原研・放射線分子疫学
- (10) 甲状腺癌の RNA-seq データを用いて解析した腫瘍間均一性・不均一性 15:03-15:15
永山雄二¹、三嶋博之²
¹長崎大・原研・分子医学、²長崎大・原研・人類遺伝学

- (11) TERT プロモーター領域のメチル化と mRNA の発現の検討 15:15-15:27
松瀬美智子¹、田中彩¹、Vladimir Saenko²、鈴木啓司¹、光武範吏¹
¹長崎大・原研・放射線災害医療学、²長崎大・原研・放射線分子疫学

休憩 15:27-15:37

座長: 宮本 達雄 (広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野)

- (12) 放射線感受性個人差を規定する遺伝素因の探索とリスク定量 15:37-15:49
宮本達雄¹、富岡啓太^{1,2}、阿久津シルビア夏子¹、小林正夫²、工藤美樹³、松浦伸也¹
¹広島大・原医研・放射線ゲノム疾患、²広島大・大学院・医系科学研究科・小児科学、
³広島大・大学院・医系科学研究科・産婦人科学
- (13) ヒト正常圧水頭症の原因遺伝子 15:49-16:01
吉浦孝一郎¹、森本芳郎²、吉田真太郎^{1,2}、菰原義弘³、松田勝也⁴、中島正洋⁴、三嶋博之¹、
木下晃¹、小野慎治^{1,5}
¹長崎大・原研・人類遺伝学、²長崎大・医歯薬学総合研究科・展開医療科学講座精神系科学
³熊本大・大学院・生命科学研究部・細胞病理学、⁴長崎大・原研・腫瘍・診断病理学、
⁵愛野ありあけ病院
- (14) ラット新生仔期被ばくで誘発される甲状腺病変 16:01-16:13
藤本成明¹、松山睦美²、中島正洋²
¹広島大・原医研・疾患モデル解析、²長崎大・原研・腫瘍診断病理学
- (15) ラット放射線誘発甲状腺がんモデルでの放射線被曝バイオマーカー探索 16:13-16:25
松田勝也¹、吉野相輝²、黒濱大和¹、中島正洋¹
¹長崎大・原研・腫瘍・診断病理学、²長崎大・医学部4年生

休憩 16:25-16:35

分類3 放射線災害の社会影響と放射線防護

座長： 長谷川有史（福島県立医科大・医学部・放射線災害医療学講座）

- (16) フォーカスグループインタビューにおける頻出語句とインタビュー対象者の社会的背景に関する検討 -原子力災害後の放射線健康不安調査から- 16:35-16:47
長谷川有史
福島県立医科大・医学部・放射線災害医療学講座
- (17) 手指の爪を用いた遡及的線量評価の現状と課題 16:47-16:59
保田浩志¹、Chryzel A. Gonzales^{1,2}、廣田誠子¹、Jolan E. Tano^{1,2}
¹広島大・原医研・線量測定評価、²広島大・大学院・医系科学研究科
- (18) 福島県川内村・富岡町における復興支援研究：復興から発展へ 16:59-17:11
高村昇、折田真紀子、山田裕美子、平良文亨
長崎大・原研・国際保健医療福祉学(原研国際)
- (19) 放射線災害被災者の記録と医学調査研究 17:11-17:23
久保田明子、杉原清香、吉永信治
広島大・原医研・附属被ばく資料調査解析部
- まとめと閉会の辞 長崎大学原研 宮崎 泰司 17:23-17:33